

目 次

第 I 部 コロイドの構造

1 章 顕微鏡による組織観察	3
1・1 偏光顕微鏡	小出直之 3
1・2 ブルースター一角顕微鏡	加藤貞二 13
1・3 電子顕微鏡	橋高茂治 21
2 章 走査型プローブ顕微鏡	31
2・1 概 説	藤平正道 31
2・2 走査型トンネル顕微鏡	指方研二, 板谷謹悟 34
2・3 原子間力顕微鏡	藤平正道 43
2・4 摩擦力顕微鏡	藤平正道 49
2・5 走査型表面電位顕微鏡	藤平正道 54
2・6 近視野光学顕微鏡	藤平正道 56
3 章 小角散乱法	66
3・1 X線小角散乱法	66
3・2 中性子小角散乱法	81
4 章 光散乱法	94
4・1 静的光散乱	94
4・2 動的光散乱	99
4・3 溶質粒子の構造	103

4・4 電気泳動光散乱	105
4・5 実験装置と測定方法	107
4・6 コロイド溶液の光散乱	108

5 章 固体表面の構造解析	有賀哲也, 岩澤康裕 111
5・1 はじめに	111
5・2 電子回折による表面構造解析	111
5・3 局所構造解析	115
5・4 表面の化学分析	119
5・5 表面吸着種の振動分光法	123

第 II 部 コロイドの性質

6 章 界面エネルギーの測定	131
6・1 液体の表面張力測定	131
6・1・1 表面張力と表面自由エネルギー	清宮懋 131
6・1・2 懸滴法と静滴法	荒殿誠 138
6・1・3 スピニング・ドロップ法	藤原正美 148
6・2 濡潤の測定	堤和男 157
6・3 表面力測定	栗原和枝 165
7 章 吸着の測定	180
7・1 気相吸着	金子克美 180
7・2 蒸気吸着	金子克美 192
7・3 特殊な気体吸着法	金子克美 193
7・4 液相吸着	尾閔寿美男 202
8 章 界面電気現象の測定	古澤邦夫 217
8・1 電気泳動法	218
8・2 電気浸透法	227
8・3 流動電位法	230
8・4 沈降電位法	234
8・5 濃厚分散系の電位測定	236

9 章 レオロジー測定法松本孝芳	241
9・1 線形粘弾性	241
9・2 定常流動特性	244
9・3 測定装置	247
9・4 測定法	248

第 III 部 コロイド系のキャラクタリゼーション

10 章 微粒子と分散系のキャラクタリゼーション古澤邦夫	261
10・1 分散一次粒子のキャラクタリゼーション	261
10・2 分散粒子の安定性の評価法	267
10・3 凝集フロックのキャラクタリゼーション	275
10・4 濃厚分散系のキャラクタリゼーションの新展開	281
11 章 微細孔体のキャラクタリゼーション金子克美	287
11・1 物理吸着によるキャラクタリゼーション	287
11・2 X線小角散乱	309
11・3 核磁気共鳴法	313
11・4 水銀ポロシメトリー	313
11・5 おわりに	314
12 章 会合コロイドのキャラクタリゼーション	316
12・1 ミセル溶液加藤直	316
12・2 マイクロエマルション國枝博信	329
12・3 ベシクルの調製とキャラクタリゼーション君塚信夫	343
13 章 エマルションの調製とキャラクタリゼーション松本幸雄	357
13・1 エマルション調製法の多様性	357
13・2 エマルション調製法の概略	358
13・3 エマルションのキャラクタリゼーション	364
14 章 分子薄膜の作製とキャラクタリゼーション加藤貞二, 福田清成	371
14・1 単分子膜の作製	371

14・2 単分子膜のキャラクタリゼーション.....	382
14・3 累積分子膜 (Langmuir-Blodgett 膜) の作製	389
索引	395